

2024年度 環境活動レポート

株式会社 龍野土木

(対象期間：2024年8月～2025年7月)

Eco Action 21



発行日：2025年10月10日

環境経営方針

当社は建設業をはじめとする企業として良質な構造物を提供すると共に、地球環境への負荷への知識を備え、最大限に知識を活かすと共に地域の環境活動に自主的・積極的・継続的に取り組み地球環境保全に貢献します。

次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます

- 1** . 環境に関する法規等の遵守を誓約します。
- 2** . 省エネルギー化に努め、二酸化炭素排出量の削減
- 3** . 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- 4** . 水資源の節水
- 5** . 建設副産物のリサイクル率の向上
- 6** . 製品・サービスの環境配慮
- 7** . 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ社外へも公表します。

制定日：2012年7月25日
改正日：2022年8月1日

株式会社 龍野土木
代表取締役社長 神山 聡志

会社概要

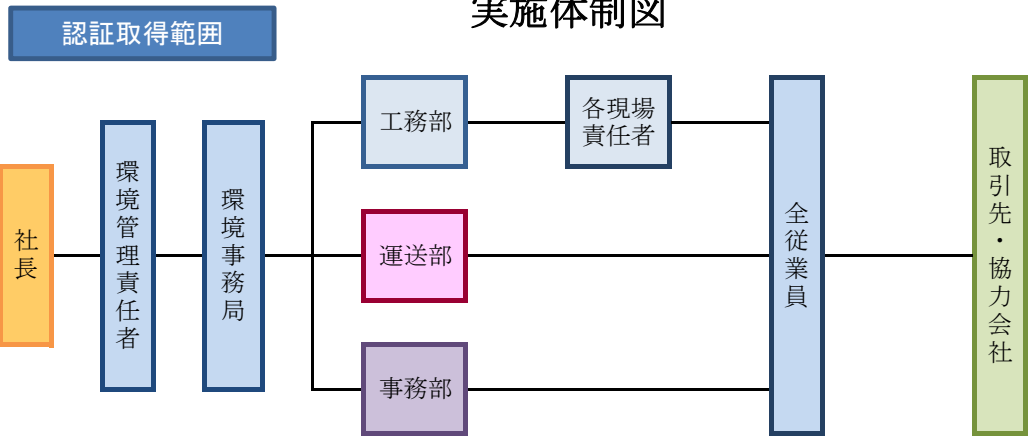
会社名	株式会社 龍野土木
設立	平成7年8月25日
資本金	2500万円
代表者	代表取締役社長 神山 聡志
管理責任者	総務部
所在地	兵庫県たつの市龍野町大道486-1
事業内容	総合建築・運輸・産業廃棄物収集運搬
年間売上高	26億4900万円（2024年8月～2025年7月）
工事件数	47件
社員数	35名（2025年7月31日現在）
面積	事務所・倉庫床面積 791.95m ² 資機材置場面積 1520.00m ²

認証・登録の対象

対象組織	本社
対象活動	総合建設業・運輸業・産業廃棄物収集運搬業

許可・登録 内容一覧

	許可区域	許可番号	許可有効年月日	備考
特定建設業		兵庫県知事 特-3 第502352号	令和3年10月28日 令和8年10月27日	
一般区域貨物自動車運送業		近畿運輸局 第1592号	平成17年11月22日 申請	
産業廃棄物収集運搬業		兵庫県知事 第02806229338号	令和4年9月2日 令和9年9月1日	



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■ 全社 (2022年～2024年度分)

項目	単位	(基準年度)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	643,802	762,373	548,338	1,912,273
廃棄物排出量	t	2,499	6,855	2,796	9,092
一般廃棄物量排出量	t	0.70	0.13	0.06	0.29
産業廃棄物排出量	t	2,498	6,855	2,796	9,092
水使用量	m ³	236	1,880	477	219
化学物質		使用なし	使用なし	使用なし	使用なし

※二酸化炭素総排出量には、灯油等からの排出分を含む。

■ 環境目標・実績

■ 事務所

項目	年度	基準値	2024年度		2025年度	2026年度	
		(基準年度)	(目標値)	(実績)	達成率(%)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減 CO2換算係数0.420	kg-CO ₂	16,319 (2023年)	14,141 87%	16,723 102%	85% ×	15,993 98%	15,993 98%
		自動車燃料による 二酸化炭素排出量削減 (2019年)	13,434 99%	13,300 99%	5,377 40%	247% ○	13,300 99%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	29,753	27,441	22,100	124% ○	29,292	29,292
一般廃棄物の削減	t	0.70 (2016年)	0.63 90%	0.29 41%	217% ○	0.62 89%	0.62 89%
産業廃棄物の削減	t	該当なし	該当なし	該当なし	—	該当なし	該当なし
節水	m ³	153 (2019年)	147 96%	152 99%	97% ×	147 96%	145 95%

※電力の二酸化炭素排出係数 関西電力(2024年度)の調整後排出係数 0.420kg-CO₂/kWh

■ 現場

項目	年度	基準値	2024年度		2025年度	2026年度	
		(基準年度)	(目標値)	(実績)	達成率(%)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減 CO2換算係数0.420	kg-CO ₂	24,390 (2019年)	23,171 95%	13,534 55%	171% ○	23,171 95%	22,927 94%
		自動車燃料による 二酸化炭素排出量削減 (2019年)	589,658 95%	560,175 95%	1,874,657 318%	30% ×	560,175 95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	614,049	583,346	1,888,191	31% ×	583,346	583,102
一般廃棄物の削減	t	該当なし	該当なし	該当なし	—	該当なし	該当なし
産業廃棄物の削減	t	2,498 (2016年)	2,348 94%	9,092 364%	26% ×	2,248 90%	2,248 90%
建設副産物 リサイクル率向上 (再資源化量/発生量)		100%	96%	98.1%	○	96%	96%
節水	m ³	83 (2019年)	77 93%	67 100%	○	80 96%	80 96%
施工・サービスへの 環境配慮			施工機械等を環 境配慮型に更新	10台更新	○	施工機械等を環 境配慮型に更新	施工機械等を環 境配慮型に更新

※電力の二酸化炭素排出係数 中国電力(2024年度)の調整後排出係数 0.544kg-CO₂/kWh

関西電力(2024年度)の調整後排出係数 0.420kg-CO₂/kWh

※化学物質の自社仕様はスプレー缶塗料等ごく少量の為目標設定していません

■ 全社

項目	年度	基準値	2024年度			2025年度	2026年度
		(基準年度)	(目標値)	(実績)	達成率(%)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減 CO2換算係数0.420	kg-CO2	40,709 (2019年)(2023年)	37,312 92%	30,257 74%	123% ○	39,163 96%	38,920 96%
自動車燃料による二酸化炭素排出量削減		603,092 (2019年)	573,475 95%	1,880,033 312%	31% ×	573,475 95%	573,475 95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	643,802	610,787	1,910,291	32% ×	612,639	612,395
一般廃棄物の削減	t	0.70 (2016年)	0.63 90%	0.29 41%	217% ○	0.62 89%	0.62 89%
産業廃棄物の削減	t	2,498 (2016年)	2,348 94%	9,092 364%	26% ×	2,248 90%	2,248 90%
建設副産物リサイクル率向上 (再資源化量/発生量)		100%	96%	98.1%	○	96%	96%
節水	m ³	236 (2019年)	224 105%	219 93%	102% ○	227	225
施工・サービスへの環境配慮			施工機械等を環境配慮型に更新	10台更新	○	施工機械等を環境配慮型に更新	施工機械等を環境配慮型に更新

※化学物質の自社使用はスプレー缶塗料等ごく少量の為目標設定していません

■ 産業廃棄物(収集運搬)

産業廃棄物収集運搬量(合計)		793.76	t
コンガラ		204.54	t
アスガラ		36	t
建設汚泥		553.22	t
運搬車	10tダンプ	9車	4tダンプ 6車
	トレーラー	3車	3tダンプ 1車
	軽ダンプ	1車	2tダンプ 3車

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	継続/変更	評価と次年度の取組み内容
電力による二酸化炭素排出量の削減			目標達成
冷暖房温度を適正にする	○	継続	全体的に目標達成できているが、今期、事務所のみ基準年度変更に伴い今の使用量と近い年度にし、わかりやすくなりましたが、まだまだ電力量が多いので、全体周知し、節電意識を高める。また、現場でも、電力を使う現場が増えれば、大幅に増えると思うので、こまめなスイッチを消す習慣を忘れず、節電の意識を持ち続けられるように周知する
設備点検フィルターの清掃を行う。	○	継続	
不要照明の消灯を行う	○	継続	
パソコンの省電力モード活用	○	継続	
節電シールの張付け	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			目標未達成
アイドリングストップ	○	継続	目標未達成です。事務所ではハイブリッド車の効果の為、燃料の消費は抑えらる。現場では、大きな現場が始まり、重機、移動車両など、燃料は増え続けた為、目標達成できなかったが、一人一人がエコ運転を心掛けているので、継続してほしい。また、再度、全体に周知するようにする。
急加速・急停車の防止	○	継続	
移動コースの効率化	○	継続	
一般廃棄物の削減			目標達成
分別ボックスの設置	○	継続	目標達成できた。ゴミの量が増える事もありますが、家庭ゴミは各自持ち帰るようにしている。また、一般廃棄物も分別ができるようになったので、来期も分部を徹底してゴミを増やさないようにする
裏紙使用	○	継続	
ミス・コピーの防止	○	継続	
電子化	○	継続	
産業廃棄物削減とリサイクル			目標未達成
分別ボックスの設置	○	継続	大きな解体現場があった為、産業廃棄物の量はすごく増えたが、リサイクルとして使用されたので、リサイクル率は達成できた。産業廃棄物を少しでも減らし、リサイクルをできるようにする為に、各現場分別BOXを必ず設置する
建設副産物の適正処理	○	継続	
節水			目標達成
洗車時の節水	○	継続	目標達成になったが、不要な水の出しっぱなしがないように、周知する。また現場でも水道を使う現場が出てくるので、節水表示を忘れないようにする。
手洗い時の節水	△	継続	
節水の周知	○	継続	
節水のシールの貼付け	○	新規	
施工・サービスへの環境配慮			目標達成
環境配慮型建機等の導入	○	継続	重機の入れ替えは環境配慮型に変更できているので、今後も重機入れ替えの際には、環境配慮型を採用していきたい
社会貢献			目標達成
地域コミュニケーション	○	継続	地域祭り・奉仕作業に積極的に参加できている

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
産業廃棄物処理法	産業廃棄物処理業者と委託契約、マニフェストの交付・保管 マニフェストの交付を受けずに産廃の引渡しを受託の禁止 産業廃棄物収集運搬時マニフェスト・許可書の必携	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明 分別解体 再資源化等の促進 再生資源の使用	遵守
騒音規制法	特定建設作業	遵守
振動規制法	特定建設作業	遵守
道路交通法	道路使用許可申請書 道路占有許可申請書	遵守
水質汚濁防止法	排水基準測定を実施し記録する。 知事に届出	遵守
大気汚染防止法	解体・改修工事に伴「特定建築材料(石綿等)」の除去作業	遵守
	石綿含有建材の事前調査・報告	遵守
オフロード法	ステッカー確認・重機登録証の確認	遵守
PCB特措法	適正保管、年度報告、処理委託	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄時の適正処理、簡易点検	遵守
消防法	指定可燃物貯蔵取扱所	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

大規模な現場が増加し、燃料使用量や、産業廃棄物の発生が前期よりも増加しており、環境面での新たな課題が見えてきました。事業が成長・発展している証でもあります。成長と環境への配慮をどう両立させるかが課題でもあります。量を減らすのは難しい所ではありますが、その中でどれほどリサイクルができるのか考え、リサイクル率の向上に取り組んでいきます。

現在も多忙な中、各現場、省エネ運転やアイドルストップ、分別の徹底などに取り組み、一人一人の意識と行動は大変評価しております。

まだまだ出来る部分はあると思いますので、

これからも事業活動と環境保全の両立を全社員一丸となって、引き続き取り組みを強化していきます。

令和7年10月29日

株式会社 龍野土木

代表取締役 神山 聡志

環境活動の紹介



一般廃棄物の分別



産業廃棄物の分別BOX



エアコンの適切な温度管理

施工実績

弊社では、これまで数々のメガソーラー発電所の建設工事に携わっています。太陽光発電は、火力発電や原子力発電のように、燃料を使わないので、排気ガスやCO2排出も発生しない為、環境に優しく安全な発電方法とされています。

太陽光発電事業を通じてCO2削減による環境保全や

これまで活用できなかった土地の有効活用を弊社でも行っていきたいです



鳥取県内太陽光発電所建設工事